小樽 6.24

小樽總罷業の經過

樂觀出來ぬが秩序整然

意氣揚がる

三百の女房連

一堂に會し必勝を期す

罷業團本部では二十三日午後一時から罷業勞働者の全家族を舉げて稲穂町の稲穂倶樂部内に家族大會を開催した、罷業中の夫や兄弟に力添へ戰勝を期す女房、娘連約三百名は定刻續々會場指して集合、可憐な乳呑兒を背に元氣よく乘込む女房隊が勇ましい光景だ、其の數約三百餘名、場内は相變らず正私服警官隊をもつてものくしく警戒する、先づ鈴木司會者一場の激勵演説をやり女房連の拍手パチくく、次で正木政治部長の妻君ミツさん讀々悲壯を極めたのやうな宣言を讀み上げ滿場寂として聲を呑む、かくて札幌の應援團員の激勵の辭あつて左の決議をなす

決議

吾等は今、小樽合同勞働組合爭議團家族大會の名において左の事項を決議夫々要求と抗議をなす

一、小學校授業料撤廢一、差押反對一、市營無料診療所の設置一、電燈料値下げ即行消燈反對一、家賃三割値下げ一、市營助産院の設置一、兒童強制貯金廢止及保護者負擔廢止

宣言

勞働者の一家が温いごはんをたべるための闘ひだ、自分等は之を見てばかり居ず妻も娘も親も立つて戰はふ、夫の敗北は妻の敗、息子の敗は親の敗北だ、私共は一家を擧げて團結し此のストライキを勝たしむのが義務である

やつと揃つた應援六十名

幹部躍氣となつて奔走の結果

札幌から小樽へ繰出

持久戰に入つた小樽の勞働爭議に他まで對抗すべく資本家側は躍起となつて全道より勞働者の補充に介入してゐるが小樽職業所の如く札幌勞働評議會全組合にもこれが應援方を二十二日午後交渉して來たので會長の助川貞二氏は直に手配した結果百五六十名の人員を整へ二十三日午前八時三十二分の汽車にて愈々小樽へ乘込むことになつてゐたが何うした手違ひか一向に集まらず道の助川氏も氣をもやしてゐたが幹部等と奔走の結果漸くにして午前十時五分發列車にて取敢ず六十餘名が應援のために向つた 尚札幌にては要求次第まだく應援勞働者を募集に難くないと見做してゐるもこれがため爭議は益々深刻化し容易ならぬ形勢に至るやも知れずと觀測し重大視してゐる

【勞働團體は即時起つて一大應援運動を開始すべし】と前記三組合の提唱に依り廿三日午後三時より室町衛生事務所前にて小樽爭議應援の件の謀案に就き協議する筈

責任などゝ筋合はない

曖昧な態度で

安藤署長語る

在鄕軍人救護隊、消防組の出動に對し端なく安藤水上署長の責任問題となつたが其の聞きに曰く

僕が責任を問はるゝ筋合はない在鄕軍人救護隊から何と抗議を申込まれても答へられないそれは僕として其理由はないからなのだ、救護隊を動かした事は國家社會から見て非常時に際し最も勇氣を得た措置であらう、何ッ出動させしめた經緯だつてそんな事は僕は知らん

と大きく出ながら頗る曖昧な態度

函館からは罷業團應援

二組合から提議

【函館電話】小樽市の[illegible]爭議に[illegible]人夫の投げた波紋は遂にゼネラルストライキとなり[illegible]合同勞働組合は全道に檄を飛ばし[illegible]

物凄い

申込をよそに

を持してゐた

[illegible]の紹介所 爭議勃發と共に市の職業紹介所に向け勞働者の紹介斡旋方をしてあるが同所では此の際關聯に捲込まれる恐れないでもないから當然勞働方面の紹介を中止し、一時紹介を中止してをるが、既に申込數々百名に達してゐるから凄い

法人 協調會